



## 10/17 文化発表会～声で繋ぐ三中の心～



素晴らしい文化発表会になりました。その一言です。オープニングのムービーでは、盛り上げようと様々な工夫が施されていただけでなく、「地域とつながる」を意識して、地域の方へのインタビューが盛り込まれていました。吹奏楽部の演奏はとても素晴らしい、特に「ジブリメドレー」は10分弱の長い演奏でしたが、日頃真剣に練習に取り組んでいることが伝わってくる演奏でした。合唱コンクールでは、どの学年も素晴らしい歌声を響かせてくれました。どのクラスが金賞になるのか、正直すべての学年わかりませんでした。特に3年生の合唱には圧倒されました。さすが、最高学年というパフォーマンスを見せてくれて、きっと「あんな3年生になりたい！」と思ってくれた下級生は多かったのではないでしょうか。賞はもらえなかったとしても、クラスが一致団結したことが一番尊いと思います。そして、表彰式後の感想交流。たくさんの生徒が挙手をして発表しました。それだけ、心を動かされた生徒が多かったということです。その中でも2年生の西岳君は「吹奏楽部の演奏にすごく感動した。あの演奏があったからこそ、合唱コンクールも盛り上がったのではないかと思います。」と、一人だけ吹奏楽部の頑張りを感想でのべていました。合唱がメインになった感想交流でしたが、文化発表会をしっかりと振り返った西岳君の視野の広

さにも感動しました。当日発表はしなかったけれど、生徒会執行部のオープニングムービーが一番印象に残っている・審査員の講評が一番心に残っている、という生徒もいたのではないか。「やらされる」ではなく、「自分たちでやる」ことができれば、行事って本当に大きな力を持っているのです。

開会式の時に私が話したこと覚えているでしょうか。「行事を行事で終わらせない」ということです。今回の取り組みでクラスのまとまり・団結力はさらに高まったと思います。今まで知らなかった仲間の一面にも触れることができたと思います。普段はおとなしそうに見えても、ここぞという時にはリーダーシップを發揮して、みんなを引っ張ってくれた仲間がいたと思います。それとは反対に、いつも笑顔いっぱいだけれども、実はいろんな悩みを抱えている仲間がいるかもしれません。自分の心の居場所を探している仲間がいるかもしれません。本当は教室で過ごしたいけれど、あと一步のところで躊躇している仲間がいるかもしれません。合唱コンクールの取り組みを通して、そんな仲間への心配りを学級全体で行うことができれば、まさに「行事を行事で終わらせない」ことになると思います。そんな「つながる」クラスの姿を見せてくれることを期待しています。

最後に、今回の文化発表会の成功に向けて、しっかりと準備を重ねてくれた文化委員の皆さん、生徒会執行部の皆さん、そして担当の先生方、本当にお疲れさまでした。

## 10/15 玉名・荒尾中学校総合体育大会駅伝競走大会



横島町周回コースで行われた玉名・荒尾中学校総合体育大会駅伝競走大会。7月から練習をスタートし、暑い夏の間、こつこつと練習に取り組んでいる姿を、校長室から毎日見ていました。本当に頑張っていました。結果はAチームが男女ともに5位、Bチームは男女ともに4位でした。女子も男子も県大会に出場してもおかしくないくらいまで仕上がり、当日の結果も良い記録が出せっていました。県大会出場という目標は叶いませんでしたが、それ以上に得たものは多かったのではないでしょうか。当日走れなかつた選手は付き添い・係として役目を果たし、またマネージャーの仕事を最後までやりきってくれた生徒もいました。本当にありがとうございました。支えてくれたみなさんおかげで男女とも2チーム参加できました。

さて、競技以外の部分ですが、これについては三中生の振る舞いは本当に素晴らしかったと思います。朝から会場で一番はじめに円陣を組んで気合を入れていたのは三中でした。荷物がきちんと整理されていたのも三中でした。表彰式できちんと整列して真剣に見ていたのも三中でした。優勝・県大会出場という目標に向かって努力を続けた過程と、当日の走り、そして競技以外の振る舞い、すべて素晴らしかったと思います。一人一人の成長を目の当たりにした3か月間の取り組みでした。練習に参加した生徒の皆さん、そして指導に携わっていただいた先生方、本当にお疲れさまでした。

チームとしての成績は先ほど紹介しました。個人の記録に関しては、それぞれに伝えてありますし、当日の結果表も配布してあると思います。そんな中、男子1区を走った江口大尊君が見事、区間賞でした。自らレースを作つての区間賞、見事でした。おめでとうございました。

